



KAMA-City Social welfare Council

嘉麻市 社協だより

えがお

No.11
発行日
2006.12.27

うすい人権啓発センター習字教室の子どもたち



もくじ

特集「VO CE No.4」CAPちくほう	2~3
地域のホットニュース	4~5
かまボランティア・市民活動センター情報	6~7
子育てのページ・わいわい広場	8~9
知っとく情報 配食サービス	10
法人運営インフォメーション	11
社協からのお知らせ・寄附のお礼・指定葬祭場紹介	
社協会員	12~13
ふるさとへの手紙・総合相談カレンダー	
うちの自慢のペット君・ふれあい映画会	14

発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
KAMA-City Social welfare Council
URL <http://kama.syakyo.com> E-mail info@kama.syakyo.comTEL 820-0205
嘉麻市岩崎 1143番地3 稲築住民センター内
TEL 0948-42-0751 / FAX 0948-83-8005

私がふる里を後にして、40年の月日がいつの間にか、40年になってしまった。初めて、夕暮れになると寂しく田舎を思って、宮崎に来てからは、冬になつても雪の降らない事に、何で雪が降らんぢやろ? と、恋しく思ったものです。今年の秋のある夜の事。いつものように孫達と「寅さん」を見つめていると、「あれ?」と、目が釘づけになりました。この瞬間、見覚えのある懐かしい風景が目に飛び込んできました。昔の炭坑住宅です。「あ!ここ、ここ。ばあちゃんの生まれたところ。」と、「うん、の田舎だよ。」「うん、の生れたところ。」と?「そうよ、ここはばあちゃんの生まれたところ。」と、興味津々で見つめる孫の顔。私は胸に、熱いものが込み上げてくるのを感じながら、若かりし頃の「自分」

を観ていると、「あれ?」と、目が釘づけになりました。この瞬間、見覚えのある懐かしい風景が目に飛び込んできました。昔の炭坑住宅です。「あ!ここ、ここ。ばあちゃんの生まれたところ。」と、「うん、の田舎だよ。」「うん、の生れたところ。」と?「そうよ、ここはばあちゃんの生まれたところ。」と、興味津々で見つめる孫の顔。私は胸に、熱いものが込み上げてくるのを感じながら、若かりし頃の「自分」

宮崎県高鍋町
大森順子さん(57歳)
稲築才田出身

ふる里を感じる時

手紙
No.11

私は今、ホームヘルパーとして走り回っています。年を重ねた人々のふれあいも、またおはよつございます。私は、おはよつございました。

2月の総合相談カレンダー

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
28	29	30	31	1 心配ごと相談 (山田支部) 13:00~15:00	2	3
4	5 心配ごと相談 (稲築支部) 13:00~15:00	6 法律相談 (嘉穂支部) 13:00~16:00	7	8	9 就労相談 (碓井支部) 13:00~15:00	10
11	12	13	14	15 心配ごと相談 (嘉穂支部) 13:00~15:00	16	17
18	19	20 法律相談 (碓井支部) 13:00~16:00	21	22	23	24 心配ごと相談 (稲築支部) 13:00~15:00
25	26 心配ごと相談 (碓井支部) 18:00~20:00	27	28 消費生活相談 (稲築支部) 13:00~15:00	1	2	3

会場案内
・山田支部 嘉麻市山田ふれあいハウス (53-0838) ・稲築支部 嘉麻市稲築住民センター (42-0751)
・嘉穂支部 嘉麻市嘉穂老人福祉センター (57-3803) ・碓井支部 嘉麻市碓井千歳会館 (62-3538)
法律相談については、予約が必要ですので、各支部までご連絡をお願い致します。

てると話がが歳め野朝たつたで、とこ一口来んく年ら野のコセ
い大あつさ、近見て見いがたり、まなと緒事家なのし見ミミロン飯
る切たれ私元く口山つ、り、二た、まりはだ、やで族なつ2て山ミミちタ一の西
よなたコまた気にはれされし年し重度コロコロした。ら母とたつては、家んは野日
う家か口すでなつてんよ老たいも見本は、見本
族くちのいつ人間ます。の時今もの事は、見本
の見や野願てます。の時今もの事は、見本
一守ん見いくいで。の時今もの事は、見本
員つは山でれる言作に日あ病故は、見本
とて、さ。するのえ業起でり気にこれ
なく身んこでばをきもまを遭れ
つれ近にととす80 見て毎し患つま



コロちゃん【雑種:メス】

シリーズ
リレーでつなぐ
君のうらやまのうなづき
No.11

2月ふれあい
映画会
スケジュール

碓井支部 /人権啓発センターあつき	62-3538 2月 14日(水)「ひばりの森の石松」13:30~15:00
山田支部 /山田ふれあいハウス	53-0838 2月 20日(火)「社長太平記」13:00~14:30
稲築支部 /稲築社会福祉センター	42-0751 2月 15日(木)「独眼竜政宗」13:00~14:30
嘉穂支部 /嘉穂老人福祉センター	57-3803 2月 26日(月)「若さま侍捕物帖」13:00~14:30

子どもの「権利」が守られる
地域社会をめざして

CAP ちくほう
白土もとこさん (右)
田中美丘さん (左)

A black and white photograph of two women sitting at a table. The woman on the left is wearing a dark cardigan over a white turtleneck and is holding a piece of paper. The woman on the right is wearing a patterned sweater and has her hands resting on the table. They are both looking towards the camera. The background is a plain wall with a light switch visible on the right.

CAPとは、子どもへの暴力防止 (Child Assau lt Prevention) という意味です。CAPプログラムは、子どもが暴力（いじめ、誘拐、性的虐待など）にあったり、あいそうになったときに、自分自身に何ができるのかと一緒に考え、劇を通じて練習していくワークショップ（参加・体験型の学習）です。専門の養成講座を受講した、CAPスペシャリストたちのグループは、現在、全国で160以上にものぼり、子どもたちを暴力の被害者にしない、加害者にしない、そして傍観者にしないためのこのプログラムは、現在教育現場を中心に全国で実施されています。

本会では、子育ち支援講座の一環として、11月14日(火)に、CAPちくほう（白土もとこ代表）による「おとなワークショップ」を開催し、子育て中の親はもちろん、民生委員児童委員や主任児童委員の皆さんなどが参加しました。

子どもへの虐待や性的暴行を目的とした誘拐や殺人、学校でのいじめなど、子どもたちを取り巻く状況が一段と厳しさを増す中、子どもたちが安心して暮らすことができる地域社会の実現を願って活動を始めた、CAPちくほうの白土もとこさんと田中美丘さんにお話を伺いました。

CAPのワークショップには大きく分けて2種類あると聞きましたが、白土教職員や地域のおとなためのワークショップがあります。

子どもワークショップでは、大切な3つの権利「安心・自信・自由」について、またそれらの権利を守る方法について、子ども自身に何ができるかと一緒に考えます。このワークショップを通じて、子どもたち一人ひとりに「自分たちは大切な権利を持っているんだ」という意識を持つてもらうことがねらいです。

今回の子育ち支援講座でも実施したおとなワークショップは、暴力についての具体的な話や、子どもの権利を守るためにおとながでること、子どもとの関わり方についてなどをお話しします。また、子どもワークショップでの寸劇も一部見てもらなが、家庭や学校、地域でのおとなとの関わり方について学んでいきます。

田中 CAPのワークショップの特徴はどういうところですか?

これまでの暴力防止対策は、「子どもは弱い立場にあるからおとなが守らなければならぬ」という視点での発想でしたが、CAPワークショップでは、暴力を受けそうになつたとき、また受けた時に、子ども自身が問題を解決しようとする力を信じ、その力をいつでも引き出すことができるよう、寸劇等で具体的に暴力についての知識・対処策などを学ぶことが特徴です。子どもの中なる力に働きかけていくワークショップといえます。



人形を使った寸劇のひとコマ

地域のおとなへの働きかけについて詳しくお聞かせください

傾けて、どういう対応をするのかを子どもといつしょに考えていくことが大事です。子どもの気持ちを聞かずには親が対応すると、いじめた子どもも、いじめられた子どもの両方が、いじめから抜け出せなくなるのです。

また、その事実を、担任の先生に伝えるということになつても、電話で伝えるのか、会つて伝えるのか、誰が伝えるのかを、子どもたちの同意をもとに対応することが大切です。そのことが、子どもの気持ちと向き合つて、「いじめ問題への緊急提言」がまとめられましたが…。

白土　　いじめの問題のすべての責任が、教育現場にあるわけではないと私は思います。

の同意をもとに対応すること
が大切です。そのことが、
子どもの気持ちと向き合つ
ということになるのです。

先月末に、教育再生会議で
「いじめ問題への緊急提言」が
まとめられましたが、

いじめに 対して誰が責任をとるのかではなく、「いじめをされる側は少しも悪くない。いじめをする側が悪い。いじめをしていい理由なんていない！」という事をクラス全体、学校全体で共有しておることが大切だと思います。そうする事が、傍観者をつくるより何よりも法でもあると思います。

そして、いじめをする子ども達の抱えていることにも、目を向ける必要があると思います。いじめる子、いじめられる子の両方に、おとながしっかり耳を傾ける事が、いじめを解決する第一歩だと思います。



CAPちくほう

代 表 白土 もとこ
電 話 090-8393-7455

平成 16年 6月の CAPスペシャリスト養成講座（春日市）を受講したメンバーを中心に、福岡県内で 5つめの CAP グループとして発足。
筑豊地区の幼稚園、保育園、小・中学校からの依頼を受け、これまで数多くのワークショップを実施。現在 8名で活動中。

みんなの活動、地域



嘉穂
地域

鮭の遡上する川...遠賀川

～鯫神社と嘉穂地域住民の取り組み～



鮭が奉納される鮭塚



献鮭祭にて鮭を奉納する大里さん

のホットニュース!!

稻築地域

英語を通じて文化交流

～元英語教師が通訳ボランティアで活躍～ 赤間正久さん(76歳)



歓迎式典で通訳する赤間さん

福岡ライオンズクラブ
の交流事業で、11月27日
から12月12日まで、嘉
麻市鴨生に滞在したマレ
ーシアからの留学生のホ
・ワンジンさんの通訳を、
岩崎在住の赤間正久さん
(76歳)が担当しました。

元英語の教師である赤間さんは、退職をきっかけに、筑豊SGG（善意通訳ボランティアガイド）を仲間数人と1998年に結成しました。同グループは、結成の翌年から開催されている飯塚国際

車いすテニス大会での通訳をはじめ、九州工業大学の留学生や、外国語教師（ALT）を招いて交流会を開催するなど、筑豊地区に滞在する外国人の方の生活をサポートしており、経験豊かな赤間さんには、赤さんの通訳として白羽の矢が立たつたのです。

12月5日、赤さんが、ホストファミリーに連れられて、鴨生町のふれあい・いきいきサロンを訪れたときのことです。年賀状づくりやお手玉遊び、お茶の作法などの日本文化に触れる赤さんは、「アカマサン！」といつも赤間さんの方に視線を向けていました。赤間さんも、いつも笑顔で赤さんに寄り添い、ていねいに通訳している姿から、赤さんにとって赤間さんは、とても頼りになる存在であることがつかがえました。

赤間さんが教師になった昭和35年頃は、ラジオから流れる英語をテープに録音して、それを繰り返し聞いて覚えるという勉強法しかなく、とても

苦労したそうです。それでも、「もっと外国の文化に触れてみたい」と、熱心に勉強を続けたことが実を結び、県の研修制度で初めて筑豊地区からアメリカに留学することができたときの喜びは、「今も忘れられない」と言います。

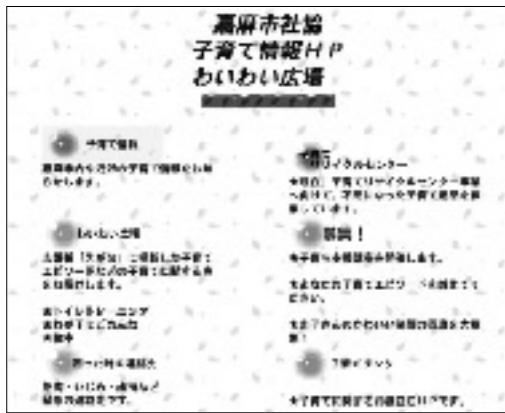
赤間さんは、「外国の文化に触れる」とは、日本の文化に触れる機会にもなります。今は、外国語を勉強する方法もたくさんあるので、若い人には積極的に勉強して欲しいですね。私も、負けずにこれからも続けていきますよ」と、学習意欲は昔と変わらず旺盛です。

2週間という短い間でしたが、英語を通じて、赤間さんと木さんの間には、心のつながりができるはずです。きっと、マレーシアで「Mr.Akamai」と写真を指差しながら、木さん家族に「日本の素敵なお通訳者」と紹介されている」とあります。

教えて下さい! 面白情報・耳寄り情報があれば自薦、他薦は問いませんの

で嘉麻市社会福祉協議会まで、ご連絡ください。※各地域に取材に伺います。

嘉麻市社協のHPに子育て情報が載っています!



<http://kama.syakyo.com/kosoindex.htm>

子育て情報求む!

HPでは、子育て情報や子育ての声を募集しています。子育てに関することなら何でもかまいませんので、是非お寄せ下さい。

Mail info@kama.syakyo.com

不用になったチャイルドシートを募集します

嘉麻市社会福祉協議会では、子育て中の世帯を対象に「チャイルドシート貸出事業」を行っています。ご家庭などで不用になったチャイルドシートがあれば、リサイクルさせていただきたいと思いますので、最寄の各支部までお寄せください。

【募集しているシートの種類】

新生児用・乳幼児用・児童用ジュニアシート（十分使用できるものに限らせていただきます）

お寄せいただく前に、シートカバーの洗濯をお願いします。

自宅へ伺っての引き取りは行なっておりません

受付場所・お問合せ先

嘉麻市社会福祉協議会（稲築支部）

0948-42-0751

山田支部地域福祉推進センター

0948-53-0838

嘉穂支部地域福祉推進センター

0948-57-3803

碓井支部地域福祉推進センター

0948-62-3538



子育て情報（blog）

嘉麻市内や近郊の子育て情報をお知らせします。

わいわい広場

広報紙えがおに掲載した子育てエピソードなどを掲載しています。

困ったときの連絡先

急病・いじめ・虐待などの緊急連絡先です。

子育てリサイクルセンター

いらなくなった子育て用品を募集しています。

募集！

子育てエピソードやお子さんのかわいい笑顔の写真を募集しています。

子育てリンク

子育てに関するお役立ちHPです。

わいわい広場

子育て支援講座でこんなことを学びました！



講座1「完璧な親なんていない！」

講師 筑豊子育てネットワーク「かてて！」 稲田佳子さん

完璧な親なんてどこにもいません

完璧な親になろうと頑張りすぎていませんか？

みんないろいろな悩みを抱えながら「育児」をしているものです。一人で悩まないで、家族や友人に相談してください。悩みを聞いてもらうだけでスッキリしますよ。

あなたは大切な人です

家族にとってあなたはとても大切な存在なのです。

そのことを自分自身が良く理解し、また家族にも理解してもらいましょう。



講座3「初めてのベビーマッサージ」

講師 看護師・タッチケア指導者 橋田真理子さん

子どもとのふれあいの大切さ

手と体がふれあうことできまざまな効果が生まれます。「相手にふれることによって相手をわかる」体験を重ね、安心感を得たり、感性を磨くこともあります。

お風呂上りにお腹や背中をマッサージしてあげたり、寝る前に手足の先をちょっと握ってあげるだけでもかまいません。お互いが癒される楽しいタッチケアをしてください。

育児疲れをリラックス

少しの時間でいいので、自分の手や足をマッサージしてみてください。リラックスできて、ストレス解消になります。



講座4「心配しないで…きっとだいじょうぶだから」

福岡県子育てアドバイザー 木ノ原元美さん

子育中の今を楽しもう

子育て中は、忙しくて外出する余裕すらないかもしれません。でも、一步踏み出せば素敵何かがあるかもしれません。子どもと一緒にできることが何か見つかるかもしれません。そして、いろいろな経験がきっとかけがえのないものになります。子育て中の今しかできないことを見つけてみてください。

絵本の大切さ

絵本は、子どもにとっても親にとってもとても大切なものです。絵本を通じて、親子のふれあいがより深いものとなります。少しの時間でも一冊でもかまいません。時間をみつけて絵本を読んであげてください。

地域に支えられて 64年

~山田高校最後の文化祭でバザーを実施 益金を嘉麻市社協に~

昭和 18年に山田中学校として開校して、長い間地域の皆様に親しまれてきた福岡県立山田高等学校が、64年の歴史に幕を降ろすことはご存知のことと思います。第 1回入学生 164名が入学してから 64年。最後の卒業生 42名が卒業する日が近づいています。

同窓は、開校にあたって、地元の方々が鍵やスコップをもつて建設地を開拓するなど、地元の方々の想いが結集して作り上げられた学校です。地域に開かれた学校として、歴代の卒業生が築き上げてきたものは計り知れません。その中でも、特に大切にしてきた地域とのつながりは、行政と合同でほた

る祭りを実施したり、公共施設に花を植えたプランターを寄贈するフラワープロジェクトで内閣府から表彰を受けるなど、今も変わらず生徒がその意思を受け継いでいます。

平成 18年 11月、ラストフェスティバルと銘打って開催した文化祭では、生徒がバザーや模擬店を実施し、これまで支えてくださった多くの地元の方々にも参加いただいて、感謝の気持ちを伝えました。

今回、その文化祭での益金を、生徒会長の堀絹彰君と、副会長の高橋マミさん、PTA会長の坂口和也さん 3名が代表して、嘉麻市社協に贈呈いただきました。その席上、山田高校 3期の卒業生である大山会長は、最後の卒業生となる 2人の後輩に向けて、感謝と励ましの言葉を贈りました。

今回の寄附には、歴代の卒業生を含め、山田地域のみならず、周辺地域の方々に対する山田高校の感謝の気持ちが込められています。本会としても、山田高校の歴史がこれからも地域の中で受け継がれていくよう、有効な使い道を考えていきたいと思います。本当にありがとうございました。



理事会開催状況

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり
第 9回理事会を開催しました。

開催日 12月 8日 (金)

議案等 報告第 5号 係争中であった旧嘉穂町社協の件に対する
福岡高等裁判所による判決について

福岡県司法書士会筑豊支部からのお知らせ

あなたと歩む、司法書士~無料法律相談を開催します~

相続、遺言、不動産・商業登記、多重債務、悪質商法、家事事件、訴訟事件等、身近な法律トラブルについて司法書士が会場で無料法律相談に応じます。秘密は固く守られます。どうぞお気軽にお越しください。

日 時 平成 19年 1月 28日 (日曜日) 午前 10時から午後 3時まで
場 所 桂川町住民センター (2階会議室)
主 催 福岡県司法書士会筑豊支部 電話 0947-45-3996
申込方法 事前予約者を優先します。
(ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。)

予約電話番号 電話 0947-44-2530
受付時間 平日 10:00 ~ 12:00で受け付けます



在宅サービス 知つとく情報

このコーナーでは、"気になる・知つて得する・耳よりな" 地域・在宅福祉サービス情報を紹介します。

今回は嘉麻市の配食サービスについてご紹介します。

嘉麻市では「介護予防事業」の一環として配食サービスがあります。この配食サービスは高齢者や障がい者、疾病等何らかの事情によって食事の準備が困難な方々に、栄養の保持と安否確認を目的に利用者宅を訪問し、お弁当を届けるサービスです。

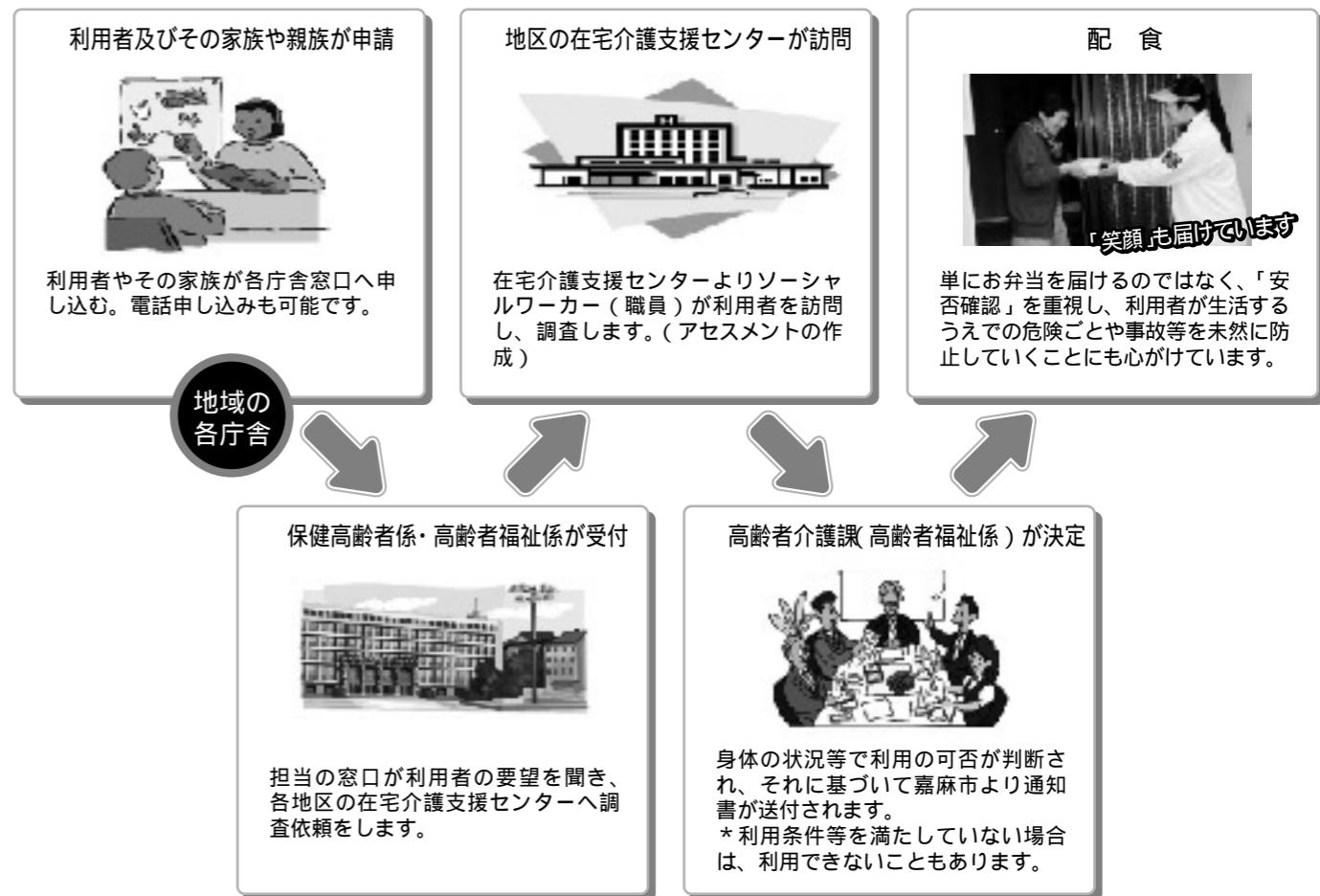
山田・碓井・嘉穂地区の配食サービス事業については、嘉麻市社会福祉協議会が嘉麻市より委託を受け実施しており、稲築地区においては、株式会社シニアーズが実施しています。

尚、利用の実施日等は各地区で異なっています。

【対象者】

市内在住で、おおむね 65歳以上の独居世帯や高齢者夫婦世帯等、心身の障がい (身体障害者 1級・2級、療育 A、精神保健福祉手帳 1級所持者) 及び疾病等の事情によって食事の準備が困難な方々です。

【申し込みから利用までの流れ】



【問い合わせ(各庁舎)】

保健高齢者係 【稲築支所】(42) - 7048
【碓井支所】(62) - 5685

【嘉穂支所】(57) - 3191
【山田支所】(53) - 1182 (高齢者福祉係)

